

令和6年度 事務事業評価シート（二次評価）

※令和5年度に実施した事業を評価しています

☐ 完了事業 ☐ ゼロ予算事業 ☒ 評価事業 ☐ 実計事業

事 務 事 業 名 (中事業)	二十歳のつどい			予 算 事 業 名 (大事業)	地域文化支援
予算科目	02-01-15-03-01-00			会計区分	一般会計
事業期間				新規・継続 区分	継続
事業区分	ソフト事業	費用区分	市費	重点事業	－
部名	文化スポーツ部			課長名	奥富 和也
課名	文化芸術振興課				

1 位置づけ等

総合計画	分野別計画	体系外		
	施策	0 1 体系外		
		(目的)		
	取組施策	0 1 体系外		
個別計画名		なし		
根拠法令条項、 条例、要綱名等		なし	法令による 実施義務	無
補助金、 交付金要綱名等		なし	上乗せ 横出し	無
関連事業		なし		

2 事業の目的と内容

実施主体	市（直営）	対象（誰・何を対象に）	市民（川越市外在住者を含む）
事業目的 (対象をどのようにしたいのか)	20歳を迎える方を祝い励ますとともに、大人としての社会的責任を自覚し、川越への愛着及び誇りを深めていただくことを目的として式典を開催する。		
事業の内容 (事業目的を達成するために、具体的にどのようなことを行っているのか、また、行ってきたのか)	第75回川越市二十歳のつどいの開催 ・実行委員の募集、実行委員会議の開催 ・二十歳のつどい実施に向けて関係各所との調整 ・誓いの言葉発表者の募集 ・二十歳のつどい当日の進行 等		
事業実施の成果 (効果・予測)	20歳を迎える方を祝い励ますとともに、大人としての社会的責任を自覚し、川越への愛着及び誇りを深めていただくことができる。		
事業実施にあたっての課題	式典参加により、旧友との交流や思い出の振り返り等を通じ、川越に愛着、誇りをもってもらえるよう、式典の企画の検討が必要である。		

3 指標

成果指標	名称	二十歳のつどい参加率		単位	%	出典	
		令和3年度	令和4年度		令和5年度	令和6年度	目標年度
	指標値	予定	60	60	60	60	令和7年度
		実績	63	62	64		目標値
	単位当たり費用	0	168.855		187.672		65
活動指標	名称	二十歳のつどい参加者数		単位	人	出典	
		令和3年度	令和4年度		令和5年度	令和6年度	目標年度
	指標値	予定	3,528	3,696	3,469	3,600	令和7年度
		実績	2,369	2,428	2,346		目標値
	単位当たり費用	0	4.312		5.12		3,500

4 他市との比較等

(1) 比較参考値（他市での類似事業の例など）	埼玉県内全市町村で実施している。
(2) これまでの見直しや改善等の経過	令和4年度から、本市ゆかりの方からのメッセージビデオの上映、実行委員が選定した曲の演奏、ARエフェクトを用いたフォトスポットの実施、看板を実行委員がデザインする等新機軸を取り入れ、式典の魅力向上を図った。また、コロナ禍以前の大ホールと多目的ホールの分散開催から、大ホール集約開催とすることで、執務員数の適正・効率化を図った。

5 実施にかかるコスト

(単位:千円)

		令和3年度(決算額)	令和4年度(決算額)	令和5年度(決算額)	令和6年度(見込額)
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	分割金・負担金	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0
	基金	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	10,469	12,011	11,198
財源合計		0	10,469	12,011	11,198
人件費 (A)		0	4,400	5,600	5,200
	正規職員(1年間の従事人数)	0	0.55	0.7	0.65
	会計年度職員(1年間の従事人数)	0	0	0	0
事業費 (B)		0	6,069	6,411	5,998
	報償費	0	19	13	13
	需用費	0	1,031	1,564	1,275
	役務費	0	627	313	387
	委託料	0	3,057	2,956	3,063
	使用料及び賃借料	0	918	1,465	1,060
	負担金、補助及び交付金	0	259	100	200
	補償、補填及び賠償金	0	158	0	0
	その他				
総事業費合計 (A) + (B)		0	10,469	12,011	11,198

6 評価

項目	評価結果	主な評価の視点	主な評価コメント及び課題等
必要性	B	法令等によりサービスが義務付けられている事業（○の場合はA評価）	法令等で義務付けはされていないが、20歳を祝福する事業として全国の自治体で慣習的に実施されており、事業廃止は極めて困難である。
		国や他市と比較しサービス水準の見直しの余地がなく、他市で廃止・見直しが進んでいない	
		国・県で同種のサービスが行われていない、上乗せ・横出しの事業ではない	
有効性	B	総合計画の取組施策への記載があるか（○の場合はA評価）	総合計画の取組施策への記載はないが、今後市の未来を担う若者の新しい門出を祝福することにより、社会人としての自覚を促すとともに、本市への愛着及びシビックプライドを醸成し、将来の定住、定着を促進することにより、本市の振興につながるものとする。
		施策の指標目標達成に関係があるか（○の場合はA又はB評価）	
		施策目的達成のために必要な事業か	
達成度	B	設定した活動・成果指標の目標（予定）を達成しているか	対象者数の減少に伴い、参加者数は減となっているが、参加率については目標を達成できている。
効率性	C	適切に直営で行っている。一部又は全部委託し、適切に委託を行っている。	○
		コスト削減の余地はないか（経費・人員・手法）	×
		受益と負担（補助）の適正化が図られているか	○
総合評価	D	参加者にとって魅力ある式典を実施するため、参加者代表である実行委員の意見を積極的に取り入れ式典や企画の内容を充実させ、DXの観点からSNS等を積極的に活用した企画を実施し、参加率を向上する必要がある。なお、Web配信については、メッセージビデオに出演する本市ゆかりの方から2次使用の承諾を得るのが難しいこと、演奏曲の著作権使用料及び映像制作・配信にかかる経費増等が見込まれることなど解決すべき課題が多く、また配信により気軽に式典が確認できることから、現地参加者が減少してしまう懸念があるため、コストと効果を見極めつつ検討したい。	

7 今後の方向性及び今後の取組み(改善策など)

今後の方向性	改善
令和6年度	運営面では、使用する部屋の削減、案内状を封書からハガキへの変更、当日受付TENTを廃止し建物内での受付とするなどによるコスト削減を図っているところである。企画面では、参加者にとって魅力ある式典を実施するため、参加者の代表である実行委員の意見をより積極的に取り入れ、またDXの観点からSNS等を活用した新機軸の企画を検討していく。
令和7年度	引き続き、令和6年度の開催実績や他市事例等も参考としながら、参加者にとって魅力ある式典を実施するための創意工夫を行う。